



耐候性PoEインジェクタ およびネットワークコネクタ



- IPカメラなどの耐候性電源
- 取り付け用品を含む完全セット

IEEE802.3afネットワーク電源アダプタ(NPA)
- 外部電源ユニットおよびバッテリーによる電源供給
(12~57 V DC)

標準接続： 耐候性PoEインジェクタイーサネット 設置ケーブルおよびパッチケーブル

MOBOTIX MX-NPA-Box
MX-OPT-NPA1-EXT



電源12~57V DC
(電源装置または
安全ヒューズ1.25A
のバッテリー)

接続された
イーサネット
取り付け
ケーブル

MOBOTIX M25Mセキュア
MX-M25M-Sec



MOBOTIX カメラ

PoEデバイス用
MOBOTIX
パッチケーブル

取り付け手順

1. ボックスを取り付け、ケーブルタイを挿入します

ケーブルポートを下に向けて、MX-NPA-Boxを取り付け位置に取り付けます。ボックスカバー（3本のネジ）を外し、付属のケーブルタイを回路基板の2つのスロットに通します。

2. 取り付け用ケーブルを用意

取り付けケーブルをサイズに切断し、ケーブルプラグ5~7 mmを通し、ケーブルを少なくとも35 mm剥がし、ケーブルの個々のワイヤーをシールド20 mmでツイストペアにします。シールドメッシュを幅10 mmのケーブルシースの周りに包み、ボードの接触板に載せます。

ケーブルは後でケーブルタイで固定します。

3. 箱の中にケーブルを送る

中央にシーリングプラグを取り付け、取り付けケーブルを開口部に通し、ケーブルプラグを5~7mmの位置に押し込みます。ボックスに湿気が入らないように、ゴムスリーブはケーブルに対してしっかりと締まっている必要があります。適切なストレーンリリーフを得るために、ケーブルタイをケーブルシールドの周りにしっかりと引っ張ります。

4. ケーブルワイヤを接続

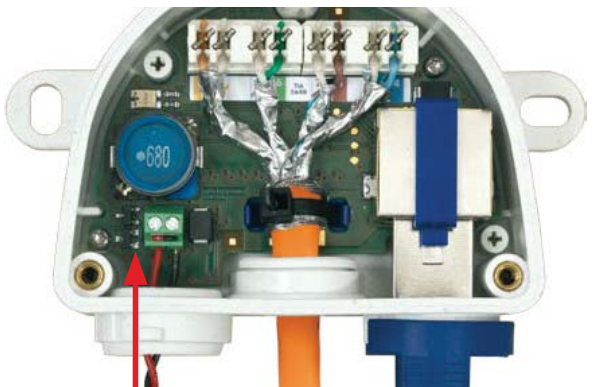
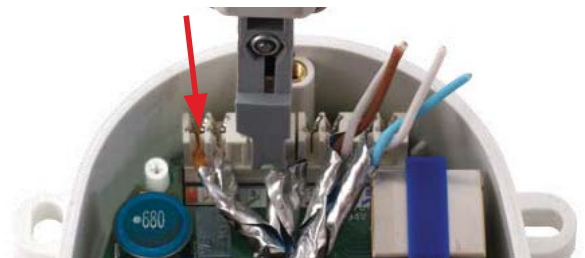
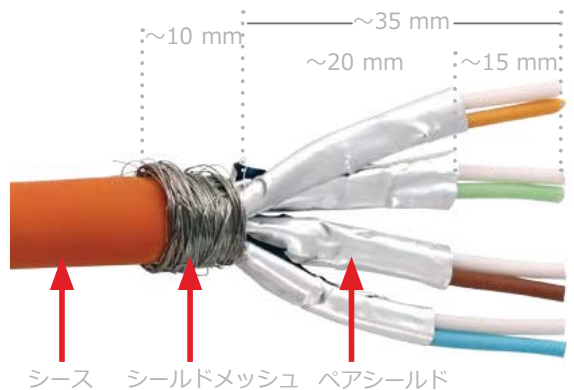
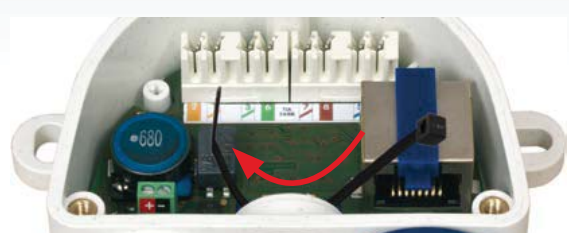
LSAPLUSワイヤ挿入ツールを使用して、個々のワイヤをLSA端子に挿入します。他の建物と同様にEIA/TIA-568AまたはB配線規格のいずれかを使用することを決定します。LSA端子の前のカラーコードステッカーは、両方の規格を示しています。

5. 電源を接続する

左のゴム製プラグの適切な開口部に電源ケーブルを通してください。シングルワイヤーの挿入には8ワイヤープラグを使用してください。絶縁された複数線ケーブルを挿入するには、適切なケーブルプラグ3~5mmまたは5~7mmを使用してください。ケーブルの絶縁部を電源ユニットまたはバッテリー（12~57V DC）の端部5 mmに剥がし、フレキシブルワイヤーを使用する場合はワイヤーエンドスリーブを使用してください。極性に従って電源端子に接続してください。カバーを箱に戻して取り付けます（トルク0.4 Nm）。

6. パッチケーブルを接続する

バヨネットキャッチと右ポートのシーリングプラグを取り外し、右ポートにMOBOTIXパッチケーブルを挿入し、バヨネットキャッチを使用して固定します。シーリングリングが一体化されたMOBOTIXパッチケーブルのみを使用してください！スタンダードパッチケーブル用のMOBOTIXシーリングシステムは、すぐに利用可能になります。

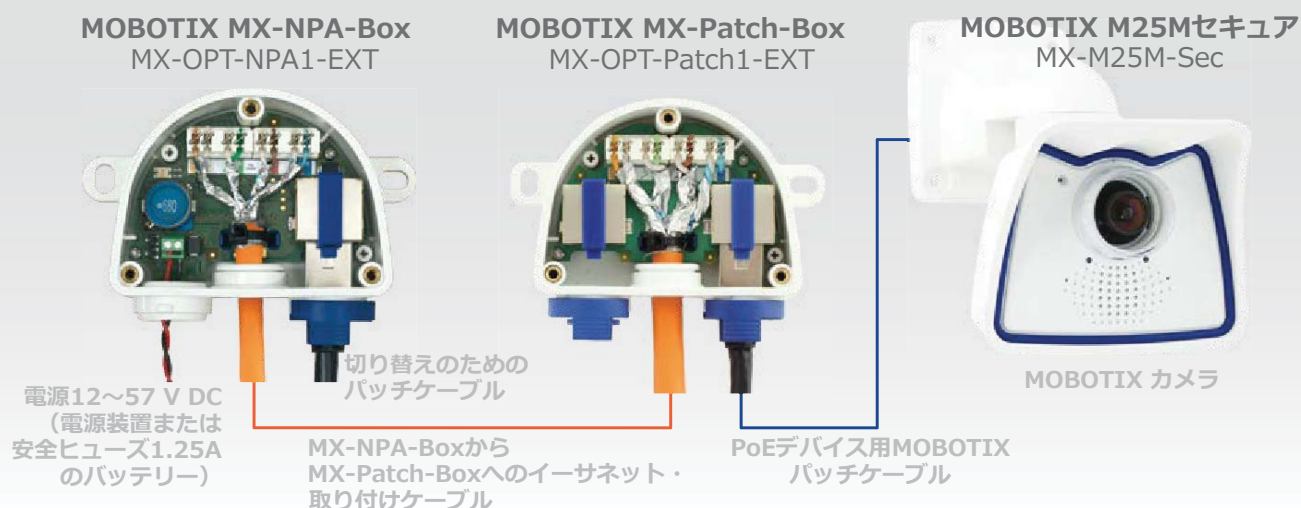


イノベーション- Made in Germany

ドイツの会社MOBOTIX AGはネットワークカメラ技術のパイオニアとして知られています。その分権化されたコンセプトは、高解像度ビデオシステムをコスト効率の高いものにしました。

MOBOTIX AG • D-67722 Langmeil • Phone: +49 6302 9816-103 • Fax: +49 6302 9816-190 • sales@mobotix.com

接続オプション：MOBOTIX MX-Patch-Boxを介したPoE電源



この接続オプションでは、パッチケーブルの代わりにイーサネットケーブルを使用して、データ接続とPoE電源を確立します。たとえば、次のような場合に役立ちます。ハイポールのIPカメラはMOBOTIX MX-Patch-Boxを介してネットワークインストールケーブルに接続され、MX-NPA-Boxを使用して電源ケーブルとネットワーク接続がポールの下部にあるインストールケーブルを介して供給されます。

注意事項

- MOBOTIX MX-NPA-ボックスは、IP65環境でMOBOTIXカメラの固定電源として使用されます。このデバイスは、本物のMOBOTIXパーツでのみ使用することができます。電源がサージ、過渡、高調波などから適切に保護されていることを確認してください。
- すべての関連法規を遵守し、意図された使用に関するすべての認定要件を満たしていることを確認してください。
- MX-NPA-Boxに接続できるPoE端末装置は1台（MOBOTIXカメラなど）のみです。
- 設置ケーブルのワイヤーが正しくねじれていて、シールドされていることを確認してください。
- MX-NPA-Boxにスイッチなしで2台のネットワークデバイス（例えばAuto-MDIXを使用しないカメラ）を直接接続する場合は、クロスオーバーパッチケーブルを使用してデバイスの1つを接続する必要があります。または、LSA端末の配線を次のように交換することもできます。端子1は端子3、端子2は端子6です。
- バッテリーから電力が供給されている場合は、安全ヒューズ（1.25 A）を使用して、電源のプラス線（+）を必ず接続してください。
- すべてのボックスカバーねじのトルク：0.4 Nm。
- リムが両側に均等に張り出すように、電源装置のゴム製プラグ（8線プラグまたはケーブルプラグ3~5 mmまたは5~7 mm、左）をケーシングに押し込んでください。
- MX-NPA-BoxのステータスLEDには、出力で到達するPoEクラスが表示されます（下の表1を参照）。
- 電源とMX-NPA-Box間の最大ケーブル長は、電源（以下の表2を参照）の出力電圧に応じて変化します。

表1： ステータスLED	電圧（入力）	PoE電源（出力）	LED	
	16V~57V	クラス1~3（12.95Wまで）	緑	
	12V~16V	クラス1とクラス2（6.49Wまで）	オレンジ	
	10V~12V	クラス1未満（<3.84W、低電圧）	赤	
	<10V	電源なし（深放電防止）	オフ	

表2： ケーブルの長さ*	出力電圧電源	最大ケーブル長さ	最大電力出力	PoEクラス
	36 V	200 m	12.95 W	1~3
	24 V	100 m	12.95 W	1~3
	12 V	50 m	6.49 W	1 および 2

MX-NPA-Boxを使用したM15/M25ウォールマウントの穴開け用テンプレート

